

2016年9月23日
千葉交通株式会社

訪日外国人のお客様に対応し日・英・中・韓の四力国語でご案内！
**路線バスの車内放送と大型モニターによる
多言語案内を開始します**

平成28年9月29日（木）開始

京成グループの千葉交通（本社：千葉県成田市、社長：飯島 俊一）では、9月29日（木）より、レゾナント・システムズ社製の27インチ大型停留所名表示液晶モニターを路線バスに搭載し、訪日外国人のお客様向けの多言語案内を開始します。



搭載した27インチ大型停留所名表示液晶モニター（一例）

導入する停留所名表示液晶モニターは、これまでの表示機に比べ、多彩な画像や動画の表示が可能となったため、中国語や韓国語など多言語の表示に対応しました。

また、停留所名表示機としては最大の27インチを搭載したことで、後方座席からの視認性を飛躍的に向上させました。

あわせて、車内放送も多言語に対応させ、訪日外国人のお客様への案内強化を図ります。

今回の対象車両は、路線バスの中で特に訪日外国人のお客様のご利用が多い京成成田駅～イオンモール成田線の専用車両4両と成田市内の主な商工観光施設を循環する成田サークルバスの1両に順次導入し、今後、引き続き路線バス新造車に搭載いたします。

千葉交通では、訪日外国人のお客様をはじめ、より多くのお客様が快適にご利用いただけるよう今後もサービス向上に努めて参ります。

多言語案内についての概要は次頁のとおりです。

多言語案内についての概要

1. 案内開始日 2016年9月29日（木）
2. 対象路線 （1）京成成田駅～イオンモール成田線
（2）成田サークルバス
3. 搭載車両 成田営業所路線バス5両に順次導入
※今後も引き続き路線バス新造車に搭載いたします。
4. 対応言語 日本語・英語・中国語・韓国語
※二重線の言語は、今回より新たに対応する言語です。

以上